

水を活かす技術のアクアス

# AQUAS

活性汚泥用汚泥沈降剤  
活性汚泥用汚泥改質剤

# アンバルカー®

200・IP-600L・HO・ST

## 汚泥の沈降障害が みるみる改善！

バルキングや汚泥浮上で処理水質が悪化・・・こんな時アンバルカーシリーズをお役立てください。  
曝気槽の泡立ち・浮上スカム・糸状性細菌・放線菌による汚泥浮上。アンバルカーシリーズは、排水プラントの水処理で発生する障害を即解決。  
活性汚泥の沈降障害をみるみる改善します。

活性汚泥用汚泥改質剤

# アンバルカー®

HO / ST

### 1. 糸状性細菌、放線菌を選択的に駆除

バルキングやスカムの発生原因菌を選択的に切断、細分化し、系外へ排出します。  
糸状性細菌にも放線菌にも良く効きます。

### 2. 早期に汚泥改質効果を発揮

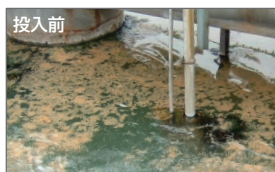
短時間でスカムを解消します。

### 3. バルキング解消効果が持続

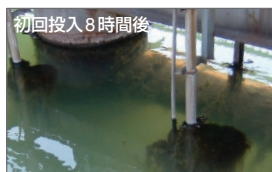
活性汚泥の微生物相を根本的に改質し、活性汚泥自体が本来もつ凝集力を回復させますから、  
バルキング解消効果・スカム発生防止効果が持続します。

#### ■ 効果例 (アンバルカーHO)

##### スカム改質効果

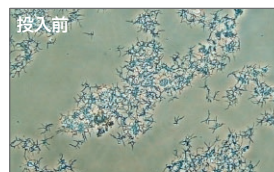


スカムが大量に発生。

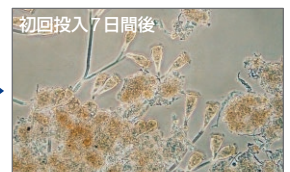


スカム発生解消。

##### 汚泥改質効果



放線菌が大量に増殖。



放線菌は観察されなくなり、  
良好な微生物に変化。

#### ■ 使用方法

- 曝気槽入口  
(曝気槽が多段の場合は、弊社までお問い合わせください。)
- 曝気槽+沈殿槽の槽容量に対して200g/m<sup>3</sup>、曝気槽入口に1日1回50g/m<sup>3</sup>を4日間に分けて投入する。

## 活性汚泥用汚泥沈降剤

# アンバルカー®

### 200 / IP-600L

### 1. 速効性

汚泥を数時間のうちに沈降させます。沈殿槽のスラッジゾーンを緊急に下げたい場合に効果的です。

### 2. 微生物付着性

天然多孔質成分が微生物の付着する担体、あるいは汚泥フロック化の核としての役割を果たし、原生動物などの有用微生物が棲息しやすい環境をつくります。

### 3. 脱水効率の向上

余剰汚泥の圧密性が高まり、汚泥脱水効率が向上します。

#### ■ 効果例 (アンバルカー200)



バルキングにより沈殿槽から汚泥が流出している。



スラッジゾーンが低下し、汚泥の流出も止まった。

#### ■ 使用例

A食品工場  
活性汚泥  
処理設備

**投入方法** 最終曝気槽に100mg/Lを3時間毎に3回投入。

**結果** 1回目の投入で汚泥流出が止まり、3回目投入後のスラッジゾーンは投入前に比べ、約1.5m低下した。

#### ■ 使用方法

- 最終曝気槽容量に対して1回につき20～100mg/Lを投入します。
- 最終曝気槽での滞留時間\* [槽容量 m<sup>3</sup> / (排水量 m<sup>3</sup>/h + 返送汚泥量 m<sup>3</sup>/h)] に相当する間隔で、1日に2～3回投入します。

※ 最終曝気槽で滞留時間は2～3時間必要です。

## アンバルカーシリーズの適用

こんな時にアンバルカーをお試しください。

項目	型式	200	IP-600L	HO / ST
沈殿槽で汚泥が流出している		◎	◎	◎
糸状性細菌が増え、汚泥沈降性が悪くなってきた		○	○	◎
放線菌が増え、曝気槽の泡立ちが激しくなってきた		○	○	◎
汚泥が分散し、処理水透視度が低い		◎	◎	◎
粘性バルキングで汚泥が沈まない		◎	◎	—
慢性的に糸状性バルキングの傾向がある		○	○	◎
汚泥の沈降性が悪いため余剰汚泥濃度が低く、脱水効率が悪い		◎	◎	◎
液体のため、薬品投入時に現場を汚したり、吸い込んだりしない		—	◎	◎

## 物性

型式	項目	外状	pH	比重	粘度	凍結点	荷姿
200		淡褐色粉末	6.8 (1%)	—	—	—	20kg クラフト袋
IP-600L		乳白色液体	3～7 (0.5%)	1.04	5～2000mPa・s	—	20kg ポリ缶
HO		黄色透明粘調液体	5.5 (原液)	1.20	1800mPa・s	-8℃	18kg バッグインボックス
ST		無色～黄色粘調液体	4.5 (原液)	1.10	2000mPa・s	-5℃	

## アクアス株式会社 <https://www.aquas.co.jp/>

本社 東京都品川区北品川5-5-15 大崎プライトコア 〒141-0001 電話03-5795-2711  
 札幌支店 札幌市中央区三条西7-1-1 緑苑ビル 〒060-0003 電話011-281-5671  
 東北支店 仙台市若林区河原町1-3-43 〒984-0816 電話022-222-8994  
 北関東支店 さいたま市南区文蔵5-31-11 〒336-0025 電話048-839-2013  
 東関東支店 千葉市中央区川崎町1 〒260-0835 電話043-208-7004  
 京浜東北支店 東京都目黒区洗足2-22-6 〒152-0012 電話03-3783-7831  
 名古屋支店 名古屋市中区千種千種1-15-1 ルミナスセンタービル 〒464-0858 電話052-745-8025  
 大阪支店 大阪府吹田市垂水町3-34-11 〒564-0062 電話06-6387-9400  
 福岡支店 福岡市博多区店屋町1-35 博多三井ビル2号館 〒812-0025 電話092-263-6211  
 八戸営業所 青森県八戸市石堂1-27-1 〒039-1165 電話0178-80-7780  
 北上営業所 岩手県北上市大通り2-11-23 北上大通りビル 〒024-0061 電話0197-64-6373  
 福島営業所 福島県郡山市方八町1-2-10 郡中東口ビル 〒963-8811 電話024-943-9781  
 新潟営業所 新潟市東区中山7-19-7 〒950-0861 電話025-364-2951  
 高崎営業所 群馬県高崎市江木町1697-3 〒370-0046 電話027-395-0466  
 つくば営業所 茨城県つくば市緑ヶ原4-4 つくばテクノパーク豊里 〒300-2646 電話029-847-1321  
 杉並営業所 東京都杉並区和泉2-7-5 〒168-0063 電話03-6379-3003  
 横浜営業所 横浜市緑区十日市場町874-9 HIPビル 〒226-0025 電話045-988-5801  
 静岡営業所 静岡市駿河区広野1-18-23 〒421-0121 電話054-268-6633  
 広島営業所 広島市安佐南区山本1-17-3 〒731-0137 電話082-832-5001  
 四国営業所 香川県綾歌郡宇多津町浜六番丁78-13 〒769-0206 電話0877-35-7560  
 熊本営業所 熊本県東区尾ノ上1-17-3 〒862-0913 電話096-340-0865  
 沖縄営業所 沖縄県那覇市西2-6-11 神里マンション 〒900-0036 電話098-862-2340

代理店